

令和3年8月11日発信

## 令和3年上半期道内卸売市場取扱高実績について

### 令和3年上半期道内卸売市場取扱高実績について

令和3年1月から6月期の道内卸売市場の取扱高実績を取り纏めました。

消費地市場の取扱高は、青果物が516億2,070万9千円で前年同期比0.5%増、水産物は581億5,553万円で1.6%増、花きは53億8,256万6千円10.3%増で、合計は、1,166億4,346万円で、前年同期の1,149億7,153万円から16億7,193万円、1.5%の増加となりました。

また、消費地市場の取扱数量は、青果物が19万8,439トンで前年同期比0.8%減、水産物が6万6,185トンで4.9%減、合計は、26万4,533トンで、前年同期の26万9,619トンから5,086トン、1.9%減少となり、花きは6,182万7千本鉢で、前年同期の6,139万5千本鉢に比べ43万2千本鉢、0.7%増加となりました。

生産地市場は、取扱高が325億2,351万9千円で、前年同期の294億4,637万5千円から、30億7,714万4千円、10.4%の増加、取扱数量は18万545トンで、前年同期の19万5,106トンから、1万4,561トン、7.5%の減少となりました。

なお、水産部門の消費地、産地を合わせた総合計は、数量が24万6,730トン、前年同期比6.8%減、金額が906億7,904万9千円、4.6%増で、数量が減少したものの、金額は増加となりました。

令和3年上半期の道内卸売市場取扱実績の総合計は、1,491億6,697万9千円で、前年同期の1,444億1,790万5千円と比較して、47億4,907万4千円、3.3%の増加と、新型コロナウイルス感染症による影響などもありましたが前年同期を上回る状況となりました。

下半期については、引き続き新型コロナウイルス感染症の影響や全国各地で発生する大雨や猛暑などの自然災害による青果物への影響や、漁獲量の拡大も見込みにくいといった懸念材料もあり、厳しい状況が予想されるところです。

なお、データを協会ホームページの卸売市場情報に掲載しています。